

## 平成29年度 教員による「学校評価」検討結果

※ 年度末反省アンケート結果をもとに1月の学部会で学部全体（7名）の意見として検討・集約。

※ 評価 A十分できた（3点） Bおおむねできた（2点） Cあまりできていない（1点） D全くできていない（0点）

めざす 学校像	今年度の重点	評価 (点数)	合計 点数
【楽しい学校】 早く登校したくなる	(1) 児童の実態把握と課題設定をていねいに行い、授業研究に計画的に取り組み、成果と改善を日常の授業に汎化していくと共に専門性の向上を図る。	A2 B5	33点
	(2) 本校及び山五小等と連携しながら具体的内容を検討し、人とのかわりを楽しみながら活動できる交流及び共同学習を計画的に実施する。	A3 B4	
【安全な学校】 安心して任せられる	(1) 教職員全員がヒヤリハットを共有するシステムを整備し、事例の蓄積と迅速な対応を継続し、日常的な事故防止に努める。	A5 B2	33点
	(2) 山五小と情報交換を密にし、連携しながら山形校児童の実態に合った実際的な避難訓練等を実施する。子ども自身が危険から身を守ることを意識して行動できる安全教育を推進する。	B7	
【頼りになる学校】 相談や支援を受けられる	(1) 地域回覧の学校だよりを毎月発行し、山形校の生活や特別支援教育に関する情報を発信していく。関係機関との連携を深め、生活・学習・進路等における適切な支援につなげる。	A5 B2	37点
	(2) 児童理解研修会や授業研究会等を通して、山五小との連携を進める。各種相談への対応等を積極的に行い、地域の特別支援学校としてセンター的機能の発揮に努める。	A4 B3	
【働きやすい やりがいのある学校】	(1) 学部会を核として日々の授業や分掌部の取り組み等を検討・確認する体制を継続し、全教員で児童を支援する姿勢のもと、円滑かつ効果的に教育活動を行う。	A5 B2	36点
	(2) 山五小との連携を密にし、お互いの共通理解のもと、共有施設等を有効に活用して分校経営に当たる。	A3 B4	